

道徳学習指導案

令和元年5月20日(月) 5校時

豊崎小学校4年1組 男子20名 女子16名

1 主題名 思いやりのリレー 道徳の内容 B-(7) 親切, 思いやり

2 資料名 かさ (出典: 光文書院「ゆたかな心」)

3 ねらい

親切にされるとうれしくなり, 思いやりの心が育まれ, 自らも親切にしようという気持ちにつながることを理解し, 親切や思いやりについて深く考える。

4 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について

指導内容は, B「主として人との関わりに関すること」の(7)「相手のことを思いやり, 進んで親切にすること」である。

中学年になると, 友達同士の交流が活発になり, 活動範囲も広がってくるため, 様々な人との関わりが増え, 相手の気持ちを察したり寄り添ったりすることができるようになる。しかし一方では, 限られた人間関係の中だけ交流が深まったり, 周りの人が困っていることに気づかなかったりすることもある。

そこで, 雨の日に傘がなくて困っていた主人公「さつき」がたまたま通りかかった母親の友達のおばさんから傘を貸してもらったことをきっかけに, 2年生のよく知らない女の子が気になってしかたがない思いが生まれ, 昨日までの私ならやらない傘を貸すという行動につながったという本資料を通して, 相手の置かれた状況や困り感に気づくという小さいけれど大切な心の芽生えが思いやりとなり, 相手のために実践する行動が親切へとなっていく, 親切はどんどんつなげることができるという「思いやりや親切の良さ」について考えを深めさせたい。

(2) 児童の実態について

本学級の子どもたちは, 思いやりや親切をすることの大切さは感じている。そのため, 進んでお手伝いをし, 役に立ちたいと行動しようとする子が多い。また係や当番活動などでは, 互いに声をかけ合いながら助け合うことの良さを感じているような場面が見られる。しかし, 助け合いが気の合う仲間に限られ, 身の周りに意識して目を向け困っている人や助けを求めていることに気づき, 相手の状況に応じて行動するまでは至っていない。

そこで, 困っている人はいないか目を向けることから始め, 助けたり助けられたりすることにより, 親切な行動がつながり増えていくことに気づき, これからのよりよい友達関係づくりについて考えるきっかけにしたい。

(3) 指導の工夫

① 発問の工夫

展開前半では, 主人公「さつき」の傘を貸してもらった前と後, 翌日の女の子に傘を貸してあげた「さつき」に目を向け, 同一人物なのだが何が変わったかを考えさせる。展開後半では, 女の子がこの後どう行動するかを考えさせることで, 親切の良さを知るとどんどん思いやりがつながっていくことに着目し, 親切な積み重ねがよりよい友達関係づくりにつながっていくことに目を向けさせたい。

② 書く活動

ノートに自分の考えをまとめさせる（自己内対話と考えの深まり）。

③ 話し合い活動

自他の意見をその「根拠」に注目し話し合うことで、道徳的価値を高めていく。

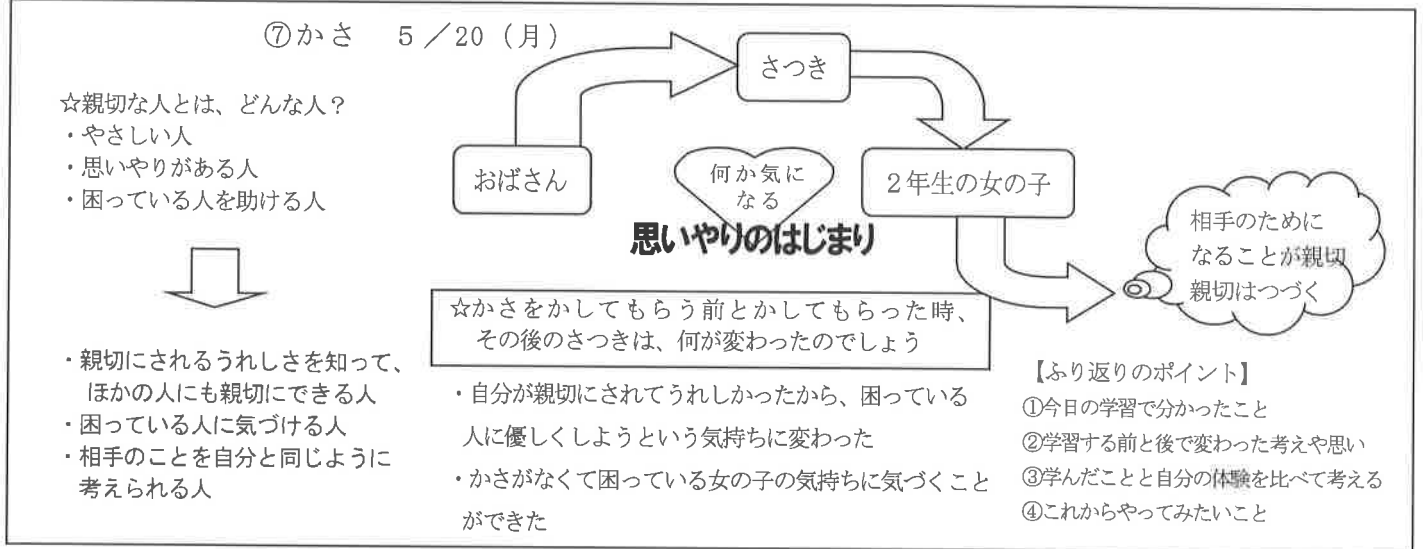
5 本時の展開

	学習活動（発問と予想される児童の反応）	○指導上の留意点 ■評価観点
導入 (七分)	<p>1. 「親切な人」からイメージすることをまとめ、親切に対する自分の考えを持つ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「親切な人」は、どんな人ですか</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・優しい人 ・思いやりがある人 ・困っている人を助ける人 	<p>○内容項目に対する子どもたちの思いや考えをそれぞれ把握させる。</p> <p>■「親切」に対する授業の前後の児童の考えの変容を見る。（板書及びノートに残す）</p>
展開前半 (二十三分)	<p>2. 資料「かさ」を読んで、親切について考える</p> <p>☆さつきの行動と心の変容について考える</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>かさをかしてもらった前とかしてもらった時、その後のさつきは、何が変わったのでしょうか</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が親切にされてうれしかったから、困っている人に優しくしようという気持ちに変わった ・かさがなくて困っている女の子の気持ちに気づくことができた ・困っている人の気持ちになって考え、どんな行動をすれば喜ぶか考えるようになった 	<p>○考えの根拠を大事にし、根拠を吟味する話し合い活動を通して、多様な考えの交流を図る。</p> <p>○親切な行動の大本となる「相手を思いやる気持ち」に目をむけさせるような発問や問い返しの発問を工夫する。</p> <p>■親切な行動を支える「困っている人が気になる」という思いやりの心の芽生えに気づく。（発言、観察）</p>
展開後半 (十分)	<p>☆親切のリレーについて考える</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>あなたは、女の子がその後、どうすると思いますか。理由もつけて考えよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・親切にされてうれしかったはずだから、別な子に傘を貸すと思う ・自分が親切にされて良かったことは、他の人にもその良かったことをしてあげたいと思う ・親切は相手のためになることだから、どんどん続いていくと思う 	<p>○さつきや女の子の行動から、「親切の良さを知った人は、これからどうするのか」を自分自身とも重ねながら考えさせたい。</p> <p>■親切の良さに気づいた自分にも思いやりの心が芽生えつつあり、これから周囲に目を向けていきたいという意欲を持つ。（発言、ノート）</p>
まとめ (五分)	<p>3. 今日、学んだことを振り返る</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「親切な人」は、どんな人ですか</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・親切にされるうれしさを知っており、困っている人に優しくできる人 ・困っている人に気づき相手のために行動できる人 ・相手のことを自分と同じように考えられる人 	<p>○「親切な人」に対する見方や感じ方を書き足させることで、今日の学びを確認する。</p> <p>■親切について、今日の学びを付け加えて自分の言葉でまとめる。（ノート）</p>

6 本時の評価

さつきの行動や心の変容から、相手の困っている状況に気づいて思いに寄り添うことの大切さに気づき、親切な行動へとつながるもとなる心について考えることができたか。

<板書計画>



メモ